

「小学校教員体験セミナー」 の現在地

山形県教育局高校教育課

小学校教員体験セミナーとは

▶ 3本の柱

事前
オリエンテー
ション

山形大学の先生
による講義等

小学校での
体験活動

講話
児童との交流
による教員体験

振り返り

体験による気づき
を共有
山形大学の先生に
よる講評

始まりは

- ▶ 普通科に通う生徒のキャリア形成
- ▶ 理系、医療系、福祉系の企画はあるが・・・
- ▶ 教員採用試験の受験者数の減少
- ▶ 高校生の進路意識の変容

実施の経過① 実施初年度（令和2年度）

▶ 2校対象に実施

対象高校	受入小学校
県立山形西高等学校	山形市立第二小学校
県立山形中央高等学校	山形市立第六小学校

▶ 参加高校生 27名

実施の経過② 拡充期（令和3年度・4年度）

▶ 4校対象に実施

対象高校	受け入れ小学校
県立山形西高等学校	山形市立第二小学校
県立山形中央高等学校	山形市立第六小学校
県立山形南高等学校	山形市立第五小学校
県立山形北高等学校	山形市立第四小学校

R3：感染症流行の影響で2校のみの実施

- ▶ 参加高校生 R3：30名（参加申し込み 58名）
R4：60名

実施の経過③ 充実期（令和5年度）

▶ 5校対象に実施

対象高校	受入小学校
県立山形南高等学校	山形市立第五小学校
県立山形西高等学校	山形市立第二小学校
県立山形北高等学校	山形市立第四小学校
県立山形中央高等学校	山形市立第六小学校
県立長井高等学校	長井市立長井小学校

▶ 参加高校生 86名

実施の経過④ 令和6年度

- ▶ 全県を対象とした取組みに

実施の経過④ 令和6年度

▶ 12校を対象に実施

対象高校	受入小学校	対象高校	受入小学校
山形東	山形八小	東桜学館	山大附属小
山形南	山形五小	新庄北	
山形西	山形二小	米沢興譲館	
山形北	山形四小	長井	
山形中央	山形六小	致道館	
寒河江	山大附属小	酒田東	

セミナーの内容

- ▶ 事前オリエンテーション
- ▶ 小学校での体験活動
- ▶ 振り返り活動

セミナーの内容①

▶ 事前オリエンテーション

【目的】教員としての視点を養う

【時期】高校の夏季休業中

【場所】山形大学小白川キャンパス

【内容】○山形大学の先生による講義

「教えること」と「学ぶこと」

○教員志望の大学生と参加高校生による

ワークショップ

セミナーの内容①

▶ 事前オリエンテーション



参加高校生の声（事前オリエンテーション）

小学生がどのように学んでいるのか、子どもたちの個性に合わせて先生方がどのように対応しているのか、それらが合わさって教室全体がどのような雰囲気なのかを体験活動では感じたい。

教えることと学ぶことが同じように見えて、実は、一方的なのが教えること、受け身にならないことが学ぶことであるという違いがあることを知ることができた。子どもたちの学ぶ姿勢を大事にすることで個性や長所を生かせる子どもが増えると思った。自分もそのような教員になりたい。

セミナーの内容②

▶ 小学校での体験活動と振り返り活動

【時期】10～11月／午前

【場所】各受け入れ小学校

【内容】

○校長先生からの激励・講話

○施設通覧

○受け入れ学級での教員体験

・教科書音読の相手

・質問への応対

・プリントの丸付け補助

・休み時間内の児童との交流 等

セミナーの内容②

▶ 小学校での体験活動と振り返り活動



セミナーの内容③

▶ 小学校での体験活動と振り返り活動

【時期】10～11月／体験活動の午後

【場所】各高等学校（R5まで）

【内容】

○グループで体験活動による気づきを共有

・教室の中で、「先生」の「教える」はどんなこと？

・教室で、あなたが切り取った場面は？

○山形大学の先生による講評（ミニ講義）

セミナーの内容②

▶ 小学校での体験活動と振り返り活動



参加高校生の声（体験活動と振り返り活動）

小学校教員は大変という印象が強かったが、今回の体験を通して大変さももちろんあるが、それよりも子どもたちとたくさんふれあい、先生も子どもたちから元気をもらっている場面を見て、小学校教員のやりがいのようなものを感じた。

もっと子どもたちのことを注視して、授業中にどんな変化があったのかを観察していればよかった。いろいろな場所から子どもたちを見て、何を考えているのかを聞けばよかった。

このセミナーの特長と課題

体験を学問につなげる サイクル

事前オリエンテーション



小学校における体験活動



振り返りによる気づきの言語化

山形大学の協力

- 教授等による講話・講評
→ セミナーでの体験を学問につなげる架け橋に
- 学生による活動での支援とアドバイス
→ 活動を円滑化、大学生活をより具体的にイメージ

今後の展開として・・・

セミナー参加者の
その後のキャリア形成

- ・複数回参加者
- ・各種公開講座

山形大学の協力

- ・レディネスの変化
- ・体験の価値づけ

プログラム内容のブラッシュアップ

- ・「体験」の方向性
- ・「振り返り」の工夫